

備前市パートナーシップ推進会議：第5回会議「協働事業審査会」要旨

と き：平成23年11月29日（火） 13:30～15:00

ところ：備前市保健センター 3階 研修室

出席者：（委員）8名、欠席 7名

（事務局）まちづくり推進課 3名

（関係部署） 環境課 1名

1．開会

2．事前説明 [資料：審査手順]

審査手順について事務局から説明。

3．協働事業審査 [資料：事業計画書、収支予算書、団体規約]

(1)提案団体によるプレゼンテーション 出席者 3名

エコロジー東備 「わが家のゴミ減量作戦（仮称）」

説明内容：団体の概要・取り組み、分別回収の現況、事業の内容

資料：「備前市のゴミ減量」ワークショップのアンケート結果

(2)質疑応答

説明を受けての質疑応答。

担当部署（環境課）も参加して、現状・課題等について質疑応答。

(3)評価表記入

各委員による評価表の作成。

(4)審査協議

評価表回収のうえ集計結果を報告。

<今後の予定>

- ・評価結果を踏まえ市長決裁により採否を決定。
- ・平成24年度当初予算に関連経費を計上予定。
- ・平成24年3月頃に第2回目の募集を予定。

4．その他

(1)総合計画策定の規定について [資料：改正内容等]

地方自治法の改正により、市町村による総合計画策定義務の除外について説明。

「まちづくり基本条例」への追加での規定も考えられるが、今後の市の方針によって、改めて協議。

(2)意見交換会について [資料：実施概要]

平成23年度の意見交換会実施状況について報告。

(3)その他

協働事業審査会について、今後公開としていくことで合意。

<主な意見内容>

【議題 3-2】質疑応答

委員 分別回収の実施状況などを教えてください。

環境課 備前地域は地区によりばらつきがありますが、50%程度が実施済みです。
日生地域はほぼ実施済みで、併せて全体としては63%程度となっています。
説明会、広報紙などでPRはしていますが、PR不足は感じています。

団体 アンケートで見ても分別収集の理解度も低い状況となっています。

委員 ごみの排出量は1人あたり1kg/日程度と思いますが、ごみの減量はどの程度見込まれているのでしょうか。

環境課 現在備前市では1人あたり900g/日程度ですが、新たな分別収集によりどの程度減量となっているかは不明です。

委員 事業を進めていく上で数値目標は必要だと思いますが、市の取組みとして5年で50%削減するという計画を聞いています。

環境課 全体で50%削減するというのではなく、可燃ごみを50%削減することによって、可燃ごみの中のプラスチック類と紙類がリサイクルされれば約50%の削減が見込まれます。

現状の内訳：生ごみ 30%、プラスチック 30%、紙類 30%、他 10%

委員 協働という観点から、市内にCO2削減などの環境問題に取り組んでいる団体や個人はあるのでしょうか。

団体 まほろば協議会は太陽光発電の普及に取り組んでいます。その他にもメンバーがそれぞれ環境活動（ごみ拾い、エコキャップ、エスコなど）に取り組む団体に所属しています。

委員 野焼きやカキの廃材などの対策も必要だと思います。

委員 移行期間であります。地域間で普及率に差があるのはなぜでしょうか。

委員 チラシのイメージはどういったものを考えているのでしょうか。

団体 マンガや人物紹介などを入れて若い方にも興味を持って見てもらえるように考えています。

現状を理解してもらうため、施設見学も必要と思います。

委員 市の説明会に団体が同行してのPRも有効だと思います。

委員 2回/年の発行だけでは浸透は難しいのではないのでしょうか。

団体 事業費の問題もありますので、今回の事業をきっかけとして広がっていけば良いと思います。

将来的には継続的にいろいろな方法も考えていく必要があります。

委員 吉永地域は収集形態が異なりますが特別に何か考えているのでしょうか。

団体 特別には考えていませんが、分別収集の意識改革として併せて啓発していきたい。

環境課 和気北部衛生組合での処理が平成26年3月で終了する予定ですので、以降は全市での統一した収集となる見込みです。

今後も引き続き全市的な意識改革が必要だと思います。

<質疑応答が終了後、提案団体退席>

以上